

2020/2021 ショートトラック国際競技会派遣選手選考基準

一部の国際大会の開催場所や日本の出場枠など、関連したルールの詳細は、国際スケート連盟 (ISU) によって後日通知される予定である。これを受けて、本選考基準のうち ISU から通知される内容に適合しない部分は変更される場合がある。

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】

国際スケート連盟 (ISU) によって以下の通り制限される。

- ・ 各国際競技会への日本の出場可能人数
- ・ 世界ショートトラック選手権大会のリレー出場枠

【特記事項】

- ・ ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- ・ 個人種目へのエントリーは、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチが、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する。
- ・ 対象競技会における個人種目の順位を用いて選考における優先順位を決める際、本選考基準に従って最終的に優先順位が決しない場合は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチ (世界ジュニアショートトラック選手権大会の場合はジュニア強化責任者) の協議により、選考方針を踏まえた総合的な検討によって優先順位を決定する。
- ・ 本選考基準において、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチ (またはジュニア強化責任者) の協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者 (選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く) の3分の2以上の多数をもって変更することができる。
- ・ 代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、選考委員会又は理事会で補欠登録をされた選手と入れ替えることがある。その場合、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討する。

1. ワールドカップ第1戦～第4戦

【開催場所、期間】

第1戦：カナダ（モンリオール）、2020年11月6～8日

第2戦：カナダ（ラヴァル）、2020年11月13～15日

第3戦：韓国（ソウル）、2020年12月11～13日

第4戦：中国（北京）、2020年12月18～20日

【選考方針】

世界ショートトラック選手権大会における日本の出場枠拡大を目指し、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女各6名（合計12名）

【選考基準】

対象競技会：

- ・ 第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2020年10月3～4日）

- (1) 500m、1000m、1500mの3距離で、各距離の優勝者を選考する。
- (2) 500mの優勝者を除いた500mの全ラウンドにおけるベストタイムが最上位の者を選考する。ただし、同タイムの場合は、500mの距離別順位の上位の者を選考する。
- (3) 500mの全ラウンドにおけるベストタイムの順位と1000mの距離別順位に、それぞれ本選考基準に添付するショートトラック派遣選考用順位ポイント表（以下、選考用ポイント表とする）に従い、(1)及び(2)において選考された者を含む男女別出場者全員にポイントを与え、それら2つを合算してランキングA1を作成する。続いて500mと1500mで距離別順位の良い方にポイントを与え、ランキングB1を作成する。上記のランキングA1とB1を合算したものでランキングC1を作成し、(1)及び(2)の選考に続きランキングC1の上位者から5名になるまで選考する。ただし、合計獲得ポイントが同点の場合は500mにおけるベストタイムが上位の者を選考する。
- (4) 当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、(1)～(3)までに選考された者を除いたランキングA1の上位3名を対象とし、選考方針を踏まえた総合的な検討によって、男女各1名を選考する。
- (5) 当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、(1)～(4)までに選考された者を除いたランキングA1の上位5名を対象とし、選考方針を踏まえた総合的な検討によって、男女各3名を補欠として選考する。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

2. 第30回ユニバーシアード冬季競技大会（2021／ルツェルン）

【開催場所、期間】

スイス（ルツェルン）、2021年1月21～31日

【選考方針】

第30回ユニバーシアード冬季競技大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女各5名（合計10名）

【選考基準】

対象選手は、現役大学生又は2020年1月1日以降に大学を卒業した者で、1996年1月1日から2003年12月31日の間に生まれた者とする。

対象競技会：

- ・ 第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2020年10月3～4日）
- ・ ユニバーシアード代表選考競技会（山梨県甲府市、2020年11月14～15日）

- (1) 第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会での選考を経て、ワールドカップ第2戦に派遣された選手を選考する。なお、当該選手には、ユニバーシアード代表選考競技会への参加を免除する。
- (2) ユニバーシアード代表選考競技会における500m、1000m、1500mの3距離で、各距離の優勝者を選考する。ただし、(1)による選考後の残りの選考人数が2名以下の場合、優勝距離の多い者を優先する。1距離優勝者相互では、優勝した距離以外の2距離のうち、より好成績の距離の順位が上位の者を優先する。これが同順位の場合は、もう1距離の順位が上位の者を優先する。
- (3) ユニバーシアード代表選考競技会において、500mの全ラウンドにおけるベストタイムの順位と1000mの距離別順位に、それぞれ選考用ポイント表に従い、(1)及び(2)において選考されたものを含む男女別出場者全員にポイントを与え、それら2つを合算してランキングA2を作成する。続いて500mと1500mで距離別順位の良い方にポイントを与え、ランキングB2を作成する。上記のランキングA2とB2を合算したものでランキングC2を作成し、(1)及び(2)の選考に続きランキングC2の上位者から5名になるまで選考する。ただし、合計獲得ポイントが同点の場合は500mにおけるベストタイムが上位の者を選考する。
- (4) (1)～(3)までに選考された者を除いたランキングA2の上位5名を、男女それぞれの補欠として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 過密した国際競技会スケジュールのため、上記選考基準を満たして選考された正選手が、その後、四大陸ショートトラック選手権大会及び世界ジュニアショートトラック選手権大会（1月下旬開催）、又はワールドカップ第5戦及び第6戦（2月上旬～中旬開催）の選考基準を満たした場合は、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、正選手と補欠選手の入れ替えを行う場合がある。なお、この入れ替えは、ワールドカップ第4戦終了後速やかに行われ、日本オリンピック委員会の定める個人エントリー締切日を超えることはできない。

3. 四大陸ショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

アメリカ（ソルトレークシティ）、2021年1月22～24日

【選考方針】

世界ジュニアショートトラック選手権大会での好成績獲得を配慮し、四大陸ショートトラック選手権大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各4名（合計最大8名）

※世界ジュニアショートトラック選手権大会と同人数。

【選考基準】

対象競技会：

- ・ 第40回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2020年12月12～13日）
 - (1) 世界ジュニアショートトラック選手権大会の選考基準に準ずる。
 - (2) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 世界ジュニアショートトラック選手権大会の特記事項に準ずる。

4. 世界ジュニアショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

アメリカ（ソルトレークシティ）、2021年1月29～31日

【選考方針】

世界ジュニアショートトラック選手権大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各4名（合計最大8名）

※ISUより、後日通知される内容による。

【選考基準】

対象選手は、2001年7月1日から2006年6月30日までに生まれた者（ISU一般規定108条2項）とする。

対象競技会：

- ・ 第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2020年10月3～4日）
- ・ 第40回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2020年12月12～13日）
 - (1) 第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会での選考を経て、ワールドカップ第3戦に派遣された選手を、選考する。なお、当該選手は第40回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会への参加を免除する。

- (2) 第40回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会における500m、1000m、1500mで2距離以上優勝した者を選考する。
- (3) (1)及び(2)で選考された者を除き、第40回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会での選考種目である3距離(500m、1000m、1500m)のいずれにおいても3位以内の成績を取めた者について、対象競技会におけるそれぞれの距離別順位に選考用ポイント表に従いポイントを与え、3距離の取得ポイントを合算し、合算ポイント最上位者から順に選考する。ただし、獲得ポイントが同点の場合は1000mのランキング上位の者を優先する。
- (4) (1)～(3)の選考において派遣人数に満たない場合は、選考種目である3距離(500m、1000m、1500m)の中から取得ポイントの高い2距離のポイントを合算し、(3)までで選考された者を除くポイント最上位者から順に選考する。ただし、獲得ポイントが同点の場合は、前述の2距離以外となる3種目目のランキング上位の者を優先する。これが同順位の場合は、1000mのランキング上位の者を優先する。
- (5) 各距離にエントリーされる選手は、派遣される男女各4名から次に掲げる成績等に鑑みて、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びジュニア強化責任者の協議により決定する。ただし、練習状況や体調・コンディショニングを総合的に考慮し、変更する場合もある。
 - ① ワールドカップ第3戦に派遣された者。ただし、ワールドカップ第3戦に派遣された選手が個人戦各種目出場枠を超えた場合は、第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会の各種目成績上位者を優先する。
 - ② 第40回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会における、各種目上位者を優先する。
- (6) 男女それぞれ補欠選手4名を、上記(4)に従った次点者から順に選考する。
- (7) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する

【特記事項】

- ・ 過密した国際競技会スケジュールのため、上記選考基準を満たして選考された正選手が、その後、ワールドカップ第5戦及び第6戦(2月上旬～中旬開催)の選考基準を満たした場合は、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、正選手と補欠選手の入れ替えを行う場合がある。なお、この入れ替えは、世界ジュニアショートトラック選手権大会の派遣手続き等を考慮し、2020年12月末日を過ぎて行うことはできない。

5. ワールドカップ第5戦・第6戦

【開催場所、期間】

第5戦：ヨーロッパ(未定)、2021年2月

第6戦：ヨーロッパ(未定)、2021年2月

【選考方針】

世界ショートトラック選手権大会での好成績獲得を配慮し、ワールドカップ第5戦及び第6戦で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女各 6 名（合計 12 名）

【選考基準】

対象競技会：

- ・ ワールドカップ第 1 戦～第 4 戦
- ・ 第 43 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2021 年 1 月 16～17 日）

(1) 男女それぞれ 4 名の派遣選手は、以下の手順で選考する。

- ① 2 名の派遣選手を、ワールドカップ第 1 戦～第 4 戦での 500m、1000m、1500m において、各ワールドカップにおける距離ごとの順位を対象として、好成績であった距離の順位が上位の者から順に選考する。これが同順位の場合は、次に好成績であった距離の順位が上位の者を優先し、それ以後も同順位となる場合は、同様の手順を経て優先順位を決定する。
- ② 残りの選手は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、ワールドカップ第 1 戦～第 4 戦に出場している選手の中から、リレー種目の構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討によって枠数に至るまで選考する。

(2) 残りの男女それぞれ 2 名の選手は、以下の手順で選考する。

- ① 1 名の派遣選手を、第 43 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会における総合順位の最上位者を選考する。
- ② 残りの 1 名の選手は、第 43 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会において、次の手順で選考する。まず初めに、500m の全ラウンドにおけるベストタイムの順位と 1000m の距離別順位に、それぞれ選考用ポイント表に従い、(2) ①において選考されたものを含む男女別出場者全員にポイントを与え、それら 2 つを合算してランキング A3 を作成する。このランキングの上位 3 位以内の者の中から、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、リレー種目の構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討によって選考する。

(3) 当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、(1) 及び (2) で選考された者を除いたランキング A3 の上位 5 名を対象とし、選考方針を踏まえた総合的な検討によって、男女各 3 名を補欠として選考する。

(4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 上記 (1) の基準で選考された選手が、第 43 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会に出場した場合は、当該選手は (1) で得た日本代表としての権利を放棄したものとし、(1) の基準による次点者を繰り上げて選考する。なお、日本代表としての権利を放棄した当該選手が、(2) 及び (3) の基準を満たしたとしても、ワールドカップ第 5 戦及び第 6 戦の日本代表には選考しない。
- ・ 過密した国際競技会スケジュールのため、ユニバーシアード冬季競技大会（1 月下旬）の正選手として選考され、ワールドカップ第 4 戦終了後における正選手と補欠選手との入れ替え検討（第 30

回ユニバーシアード冬季競技大会の選考基準における特記事項参照)を経て、日本オリンピック委員会による日本代表選手団としての派遣が決定した場合、当該選手をワールドカップ第5戦及び第6戦の派遣選手として選考しない。このため、当該選手が(2)及び(3)の基準を満たしたとしても、当該選手はワールドカップ第5戦及び第6戦の選考から除外する。

6. 世界ショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

オランダ(ロッテルダム)、2021年3月12～14日

【選考方針】

世界ショートトラック選手権大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各5名(合計最大10名)

※ISUより、後日通知される内容による。

※リレー出場権はワールドカップでの最終ランキングにより決定される(この出場権を得た場合、男女それぞれ5名の派遣が可能となる)。

【選考基準】

対象競技会：

・ ワールドカップ第5戦及び第6戦

- (1) 男女それぞれ1名の派遣選手は、ワールドカップ第5戦及び第6戦での個人種目において、好成績であった距離の順位が上位の者を選考する。これが同順位の場合は、次に好成績であった距離の順位が上位の者を優先し、それ以後も同順位となる場合は、同様の手順を経て優先順位を決定する。
- (2) 残りの選手は、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、ワールドカップ第5戦及び第6戦における個人種目の成績やリレー種目の構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討によって枠数に至るまで選考する。
- (3) 当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、ワールドカップ第1戦～第6戦における正選手及び補欠を対象とし、選考方針を踏まえた総合的な検討によって、男女各3名を補欠として選考する。
- (4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

7. 次年度(2021/2022シーズン)におけるワールドカップ第1戦～第4戦

【開催場所、期間】

第1戦：ヨーロッパ(未定)、2021年10月14～17日(予定)

第2戦：ヨーロッパ(未定)、2021年10月21～24日(予定)

第3戦：アジア(未定)、2021年11月18～21日(予定)

第4戦：アジア(未定)、2021年11月25～28日(予定)

【選考方針】

北京オリンピックにおける日本の出場枠拡大を目指し、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女各 6 名（合計 12 名）

【選考基準】

対象競技会：

- ・ 2020/2021 ワールドカップ第 5 戦及び第 6 戦
- ・ 2020/2021 世界ショートトラック選手権大会（オランダ・ロッテルダム、2021 年 3 月 12～14 日）
- ・ 第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2021 年 9 月、未定）

(1) 男女それぞれ 4 名の派遣選手は、以下の手順で選考する。

① 2 名の派遣選手を、ワールドカップ第 5 戦及び第 6 戦での個人種目において、好成績であった距離の順位が上位の者から順に選考する。これが同順位の場合は、次に好成績であった距離の順位が上位の者を優先し、それ以後も同順位となる場合は、同様の手順を経て優先順位を決定する。

② 残りの選手は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、ワールドカップ第 5 戦、第 6 戦、世界ショートトラック選手権大会のいずれかに出場した選手の中から、リレー種目の構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討によって枠数に至るまで選考する。

(2) 残りの男女それぞれ 2 名の選手は、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会を対象競技会とし、その成績を基に選考する。この選考基準は、令和 3 年度に発表する。

(3) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

(公財)日本スケート連盟主催競技会

ショートトラック派遣選考用順位ポイント表

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	1000	16	35	31	14
2	800	17	28	32	13
3	640	18	27	33	12
4	512	19	26	34	11
5	410	20	25	35	10
6	328	21	24	36	9
7	262	22	23	37	8
8	210	23	22	38	7
9	168	24	21	39	6
10	134	25	20	40	5
11	107	26	19	41	4
12	86	27	18	42	3
13	69	28	17	43	2
14	55	29	16	44	1
15	44	30	15	others 1	

- ※ ベストタイムが同タイム（1000分の1秒）の場合、エリミネーションレース同様のポイントを与える。（例：3位同着の場合、2名が3位のポイント獲得。次に続く選手は5位のポイント獲得）
- ※ 最初のラウンドでペナルティーを科された場合は出場人数+1の順位ポイントを与える。
- ※ イエローカードを受けた場合は当該距離のポイントが付与されない。